

50	17	Nonsense-mediated mRNA decay(NMD)に関するキナーゼ SMG-1 の構造機能解析	第 28 回日本分子生物学会年会、福岡 平成 17 年 12 月 8 日	森田智子、山下 暁朗、鹿島勲、 泉奈津子、石浦章 一、大野茂男	
----	----	---	---	--	--

(雑誌)

No	年 度	題 目	雑誌名 (巻、号、頁)	著者名	備 考
1	13	新しい連携大学院：横浜市立大学と理研	バイオサイエンスとインダストリー59 巻、2001 年 49-50 ページ	西村善文	
2	14	理化学研究所／横浜市立大学連携大学院	ファルマシア、38 巻、2002 年、5 月号 グラビア 3 ページ	西村善文	
3	15	ヒトゲノム解読完了を受けたライフサイエンス研究の今後の展開について	文部科学時報、No.1530、10 月号、14-31 頁、(2003)	榊佳之、豊島久真 男、永井克孝、西 村善文、中村義 一、戸谷一夫	

## ■技術的実績

(特許) [なお、「共」は共同出願]

国内出願

No	年 度	特 許 の 名 称	取得 (出願) 年月日	特許番号	発明者名	備 考
1	13	皮膚基底膜賦活用組成物	平成 13 年 5 月 21 日	2001-151485	宮田智	出願人 (株)ファンケル
2	13	新規な SMG-1	平成 13 年 5 月 25 日	2001-156088	大野茂男	出願人 JST 木原財団 共
3	13	ラミニン $\alpha 3$ 鎖の改変体	平成 13 年 9 月 20 日	2001-287519	宮崎香	出願人 JST 木原財団 共
4	13	テロメア DNA とヒト TRF1 複合体の立体構造の利用	平成 13 年 11 月 5 日	2001-338836	西村善文	出願人 味の素(株)
5	13	皮膚基底膜賦活用組成物	平成 13 年 12 月 21 日	2001-389007	宮田智	出願人 (株)ファンケル
6	13	ラミニン-6 を含む、細胞接 着活性及び/又は細胞運動 活性調節用組成物	平成 14 年 1 月 17 日	2002-9227	宮崎香	出願人 JST
7	13	ラミニン-5 産生促進剤およ びインテグリン $\alpha 6\beta 4$ 産生 促進剤を含む組成物	平成 14 年 1 月 31 日	2002-22671	宮田智	出願人 (株)ファンケル
8	13	多重複合体の化学シフトを 同定する方法、多重複合体 の立体構造を解析する方 法、多重複合体のモデルを 構築する方法、新規核酸分 子及び試薬	平成 14 年 3 月 29 日	2002-93949	西村善文	出願人 太陽日酸(株)

9	14	表皮の偏平化を予防、防止、改善する皮膚老化防止用組成物	平成 14 年 8 月 30 日	2002-255448	宮田智	出願人 (株)ファンケル
10	14	SMG-1 結合タンパク質及びその活性を制御する物質のスクリーニング方法	平成 14 年 9 月 5 日	2002-260243	山下暁朗 大西哲生 大野茂男	出願人 JST 横浜市立大学 共
11	14	イオン性高分子同定用高分子チップを用いた結合定数及び解離定数の算出方法	平成 14 年 9 月 26 日	2002-281530	西村善文 村井洋志 中尾素直 森田敏樹	出願人 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
12	14	タンパク質の回収方法及びそのシステム	平成 14 年 11 月 20 日	2002-336833	大久保綾 城田修	出願人 (株)資生堂
13	14	電気泳動分離－エレクトロスプレーイオン化法及び装置	平成 15 年 1 月 15 日	2003-6832	鈴木功一 荒井昭博 中村伸 他	出願人 (株)島津製作所
14	14	I 型コラーゲン及び/又はエラスチン産生促進用組成物	平成 15 年 3 月 25 日	2003-083943	宮田智	出願人 (株)ファンケル
15	15	質量分析用ナノ・スプレーイオン化用極細管	平成 15 年 4 月 10 日	2003-141177	山田尚之	出願人 味の素(株) 他
16	15	SMG-1 特異的 siRNA 及び mRNA サーベイランス機構抑制剤	平成 15 年 7 月 3 日	2003-191243	大野茂男 大西哲生 山下暁朗	出願人 JST 横浜市 共
17	15	新規ベクター及びその利用	平成 15 年 9 月 1 日	2003-308773	廣明秀一 他	出願人 横浜市立大学
18	15	真核生物のテロメアの長さを調整する方法	平成 15 年 12 月 9 日	2003-410562	上野勝	出願人 JST
19	15	核酸の立体構造を推定する方法	平成 15 年 12 月 25 日	2003-428892	西村善文	出願人 横浜市
20	15	タンパク質と DNA との複合体の結合の強さを定量的に解析する方法及び装置	平成 16 年 2 月 3 日	2004-27060	西村善文 明石知子	出願人 横浜市
21	15	遺伝子発現制御方法、及びそれに使用する核酸及びポリペプチド	平成 16 年 2 月 10 日	2004-033553	古久保哲朗	出願人 横浜市
22	15	テロメアタンパク質 TRF2DNA 結合ドメイン変異体タンパク質、テロメア DNA 変異体及び TRF2DNA 結合ドメインと二重らせん DNA との複合体構造の利用	平成 16 年 2 月 23 日	2004-46238	西村善文 花岡慎悟	出願人 JST 横浜市立大学 共
23	15	ヒト TFIIIE $\alpha$ の新規な亜鉛結合ドメインの構造的特徴および機能	平成 16 年 3 月 1 日	2004-55645	西村善文 奥田昌彦 他	出願人 JST 横浜市 共

24	15	芳香属性置換基を導入した 4-N-カルバモイルデオキシ シチジン	平成 16 年 3 月 5 日	2004-61627	関根光雄 清尾康志 宮田健一 玉虫隆二	(財)理工学振興 会
25	16	アロステリックタンパク質 における基質若しくはその アナログ及び/又はアロス テリックリガンドの結合部 位又はその近傍を同定する 方法、アロステリックタン パク質にリガンドが結合す る順番を決定する方法、並 びにアロステリックリガン ドを検出する方法	平成 16 年 5 月 20 日	2004-150601	明石知子 岡崎浩輔 百瀬傳一	出願人 横浜市 キッセイ薬品工 業(株) 共
26	16	酵母 <b>DSK2</b> のユビキチン結 合ドメインとモノユビキチ ンとの複合体の構造的特徴 および酵母 <b>DSK2</b> のユビキ チン結合ドメインによるモ ノユビキチン認識機構	平成 16 年 8 月 6 日	2004-231652	白川昌宏 廣明秀一 大野綾子	出願人 <b>JST</b> 横浜市 共
27	16	ヌクレオシド誘導体	平成 16 年 8 月 10 日	2004-232955	関根光雄 清尾康志 宮田健一	出願人 (財)理工学振興 会
28	16	微粒子充填型マイクロチップ	平成 16 年 10 月 22 日	2004-308790	鈴木功一	出願人 (株)島津製作所
29	16	出芽酵母 <b>CHD1</b> クロモドメ インの製造方法及びその核 磁気共鳴スペクトルの利用	平成 16 年 10 月 26 日	2004-311481	西村善文 奥田昌彦	出願人 横浜市 木原財団 共
30	16	固体支持体上の生体分子を 質量分析する方法およびそ ののための固体支持体	平成 16 年 12 月 16 日	2004-364934	大場光芳 山野博文 亀井修一 平野 久 岩船裕子	出願人 横浜市立大学 木原財団 東洋鋼鈑(株) 共
31	16	置換カルバモイル基を保護 基とした核酸の合成方法	平成 17 年 3 月 9 日	2005-064892	関根光雄 宮田健一 玉虫隆二 清尾康志	(財)理工学振興 会
32	17	ラミニン 5 を利用した間葉 系幹細胞の培養技術	平成 17 年 8 月 23 日	2005-240814	宮崎香 橋本絢子 荻谷慶喜	出願人 横浜市立大学 木原財団 共
33	17	皮膚老化マーカーとその利 用技術	平成 17 年 8 月 23 日	2005-240820	宮崎香 安田知永 岩松明彦 宮田智	出願人 横浜市立大学 木原財団 (株)ファンケル キリンビール(株) 共
34	17	I 型コラーゲン産生促進用 組成物	平成 17 年 9 月 29 日	2005-283271	宮田智	出願人 (株)ファンケル

35	17	異常タンパク質除去用組成物	平成 17 年 10 月 3 日	2005-289491	宮田智	出願人 (株)ファンケル
36	17	アトピー性皮膚マーカーとその利用技術	平成 17 年 10 月 21 日	2005-306498	宮崎香 安田知永 岩松明彦 宮田智	出願人 横浜市立大学 木原財団 (株)ファンケル キリンビール(株) 共
37	17	質量分析計によるアミノ酸分析方法	平成 17 年 12 月 16 日	2005-363512	明石知子 鈴木功一 山田尚之	出願人 横浜市立大学 (株)島津製作所 味の素(株) 共

#### 外国出願

No	年 度	特 許 の 名 称	取得 (出願) 年月日	特許番号	発明者名	備 考
1	13	新規な SMG-1 (PCT)	平成 13 年 11 月 22 日	PCT/JP01/10234	大野茂男	出願人 JST
2	15	イオン性高分子同定用高分子チップを用いた結合定数及び解離定数の算出方法 (外国出願)	平成 15 年 9 月 5 日 (アメリカ) 平成 15 年 9 月 2 日 (イギリス・ドイツ・フランス)		西村善文 村井洋志 中尾素直 森田敏樹	出願人 日立ソフトウェ アエンジニア リング(株)
3	15	SMG-1 結合タンパク質及びその活性を制御する物質のスクリーニング方法 (PCT)	平成 15 年 9 月 5 日 アメリカ・カナダ・オーストラリア・EPO	PCT/JP03/11353	大野茂男 大西哲生 山下暁朗	出願人 JST 横浜市 共
4	15	新規な SMG-1 (国内移行)	平成 15 年 11 月 24 日 カナダ・アメリカ	10/720,460	大野茂男	出願人 JST
5	15	I 型コラーゲン及び/又はエラスチン産生促進用組成物 (PCT)	平成 16 年 3 月 23 日	PCT/JP2004/3978	宮田智	出願人 (株)ファンケル
6	16	新規ベクター及びその利用 (PCT)	平成 16 年 8 月 31 日	PCT/JP2004/12523	廣明秀一 他	出願人 横浜市立大学
7	16	テロメアタンパク質 TRF2DNA 結合ドメイン変異体タンパク質、テロメア DNA 変異体及び TRF2DNA 結合ドメインと二重らせん DNA との複合体構造の利用 (PCT)	平成 17 年 2 月 21 日	PCT/JP2005/003237	西村善文 花岡慎吾	出願人 横浜市 木原財団 共
8	16	SMG-1 結合タンパク質及びその活性を制御する物質のスクリーニング方法 (国内移行)	平成 17 年 3 月 米・加・豪・英・独・仏・西・伊・スウェーデン・スイス		大野茂男 大西哲生 山下暁朗	出願人 横浜市 JST 共

9	17	新規ベクター及びその利用 (国内移行)	平成17年11月移行予定	米・加・豪・ EP(英・独・ 仏・スイス・ スウェーデン・伊)・中・ 韓・日	廣明秀一 天野剛志 合田名都子	出願人 横浜市大
---	----	------------------------	--------------	--	-----------------------	-------------

■地域への波及効果  
(マスコミ)

No	年 度	新聞社(報道番組)名	報道年月日	内 容	備考
1	13	神奈川新聞	平成14年1月23日	平成13年度研究成果報告会の開催について	
2	16	日本経済新聞	平成16年8月6日	横浜市大と資生堂によるタンパク質回収フロー型自動NMR測定装置の完成	
3	17	日刊工業新聞	平成17年12月15日	ファンケルは、横浜市地域結集型共同研究事業の成果として、皮膚診断に重要なバイオマーカーとなる機能性タンパク質を発見した。	

(発表会)

No	年 度	発 表 会 名	開催時期	開 催 場 所	参加人数	備考
1	13	横浜市地域結集型共同研究事業平成13年度研究成果報告会	H14.1.22	理化学研究所横浜研究所交流棟	170名	
2	14	横浜市地域結集型共同研究事業平成14年度研究成果報告会	H16.3.2	パンパシフィックホテル横浜	152名	
3	15	横浜市地域結集型共同研究事業平成15年度研究成果報告会	H16.10.28	パンパシフィックホテル横浜	170名	
4	16	横浜市地域結集型共同研究事業平成16年度研究成果報告会	H16.10.28	ベイシェラトンホテル横浜	161名	
5	17	横浜市地域結集型共同研究事業最終年度成果報告会	H17.10.24	パンパシフィックホテル横浜	150名	

(団体訪問)

No	年 度	訪 問 時 期	団 体 名	訪問者数	備考
1	13	H13.8.31	(財)先端医療振興財団	5	
2	13	H13.12.19	埼玉県庁	2	
3	14	H14.4.17	(財)千葉県産業振興センター	2	
4	14	H15.2.13	富士フイルム株式会社	3	
5	14	H15.3.5	埼玉県中小企業振興公社	3	
6	15	H15.5.22	神奈川県商工労働部	4	
7	15	H15.11.6	製薬協 蛋白質構造解析コンソーシアム	5	
8	16	H16.6.4	大分県商工労働部	2	